

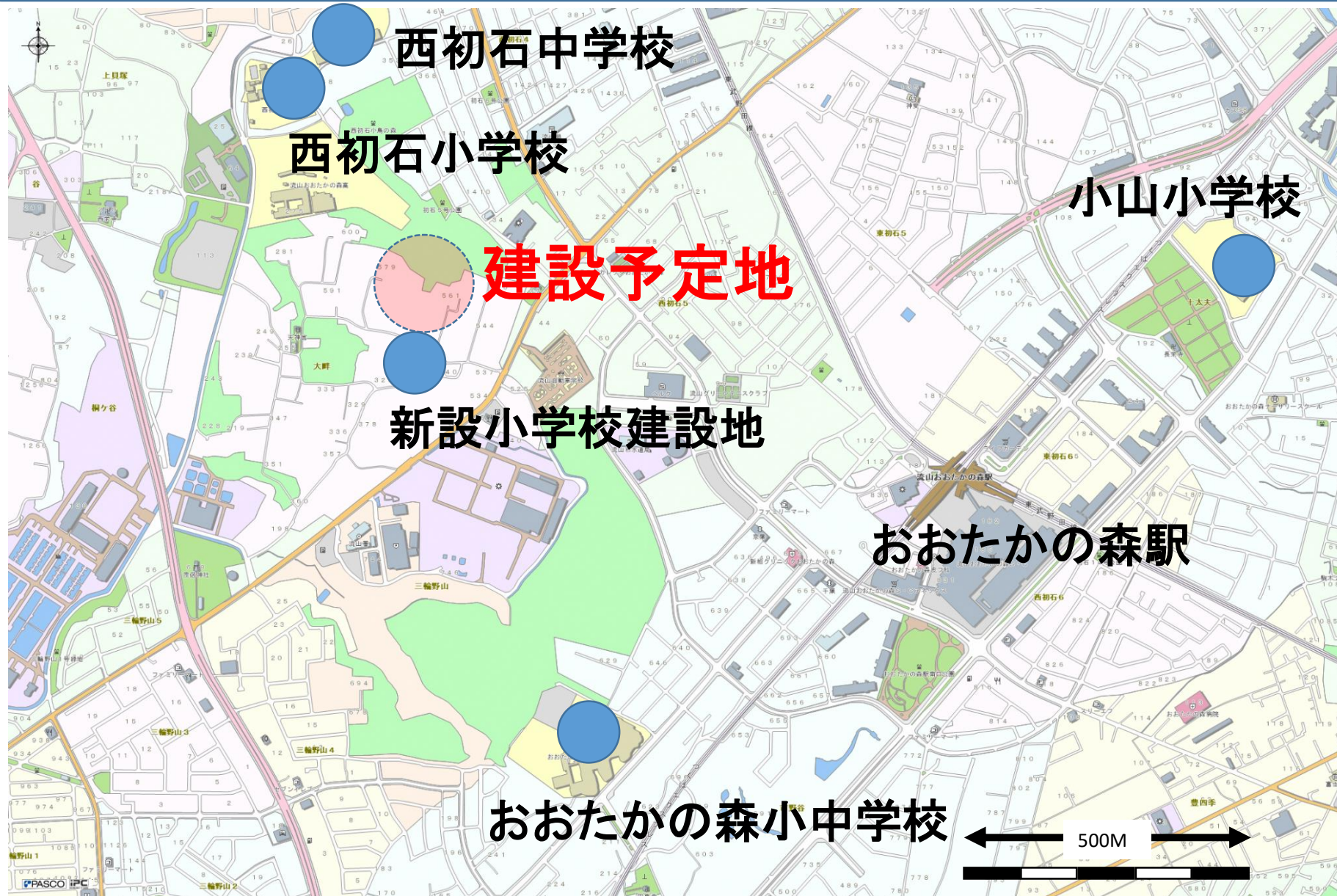
新設中学校 説明会

平成30年11月3、4日

新設中学校

建設について

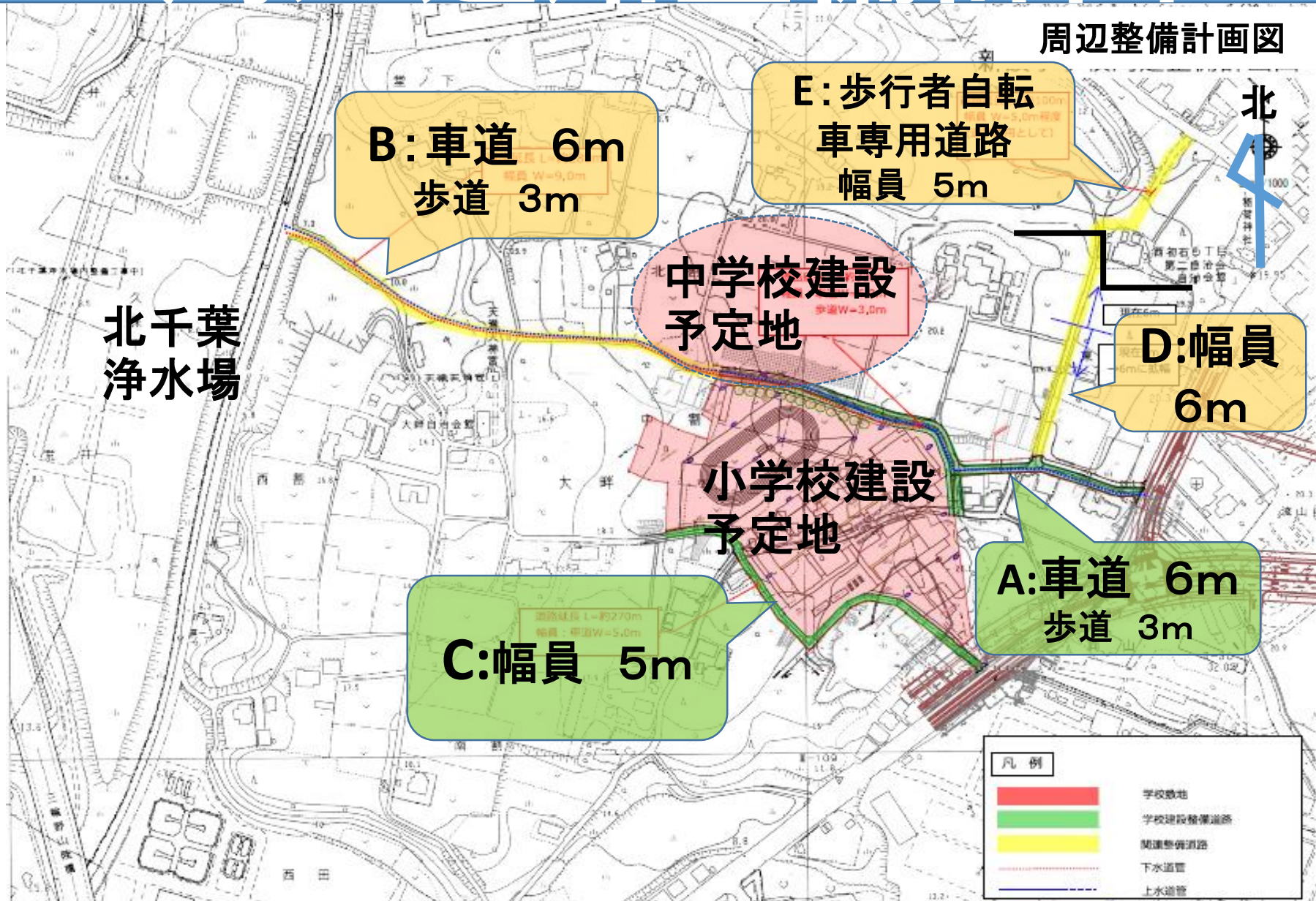
新設中学校建設予定地



建設スケジュール

	平成30年度		平成31年度		平成32年度		平成33年度		平成34年度
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	4月
設計業務		基本設計	実施設計						開校
工事		造成設計		造成工事	建設工事・外構工事				

周辺道路整備計画



学校施設の目指すべき姿

確かな学力の育成ときめ細やかな指導を実践する教育環境の整備（学習空間の充実）

- ・個に応じたきめ細やかな指導の充実を図り、児童生徒に基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得させるため、担任、学校サポート教員、算数・数学学習指導員等による少人数授業やチームティーチングなど、多様な学習展開に対応する施設整備を進める。
- ・また、グローバル社会に対応した教育の推進（英語力、コミュニケーション力等の育成）やICTを活用した授業の推進のための環境を整備する。
- ・さらに、児童・生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じ、必要な支援を行う特別支援教育に対応した施設設備を図る。

豊かな心と健やかな体を育成する安全な施設環境の実現（生活空間の充実）

- ・児童・生徒が安心して有意義な学校生活が過ごせるよう、防犯や施設の安全など安全性に配慮した施設整備を図ると共に、障害の有無に関わらず安心して施設を利用できるようユニバーサルデザイン化を目指す。
- ・また、豊かな人間関係づくりや情操の涵養、体力向上を推進するための空間作りを工夫する。
- ・さらに、地球環境に配慮し、持続可能な社会の実現のため、断熱性能の向上、LED照明や人感センサー付き照明の導入、校内緑化の推進等を進める。

地域と共に歩む拠点としての施設整備（地域との連携の充実）

- ・家庭、地域とのネットワークを形成し、学校教育活動を支えるPTA、学校サポートボランティア等の活動の場として位置づける。
- ・また、児童の放課後の居場所、地域の生涯学習の場として、学校を利用することを考慮する。
- ・さらに、地域の防災拠点、避難所としての役割を担う施設として整備を進める。

(参考)新設小学校 イメージ図



イメージ図

①人口推移について

- ・流山市の人口推移
- ・おおたかの森中学校区の生徒数の推移

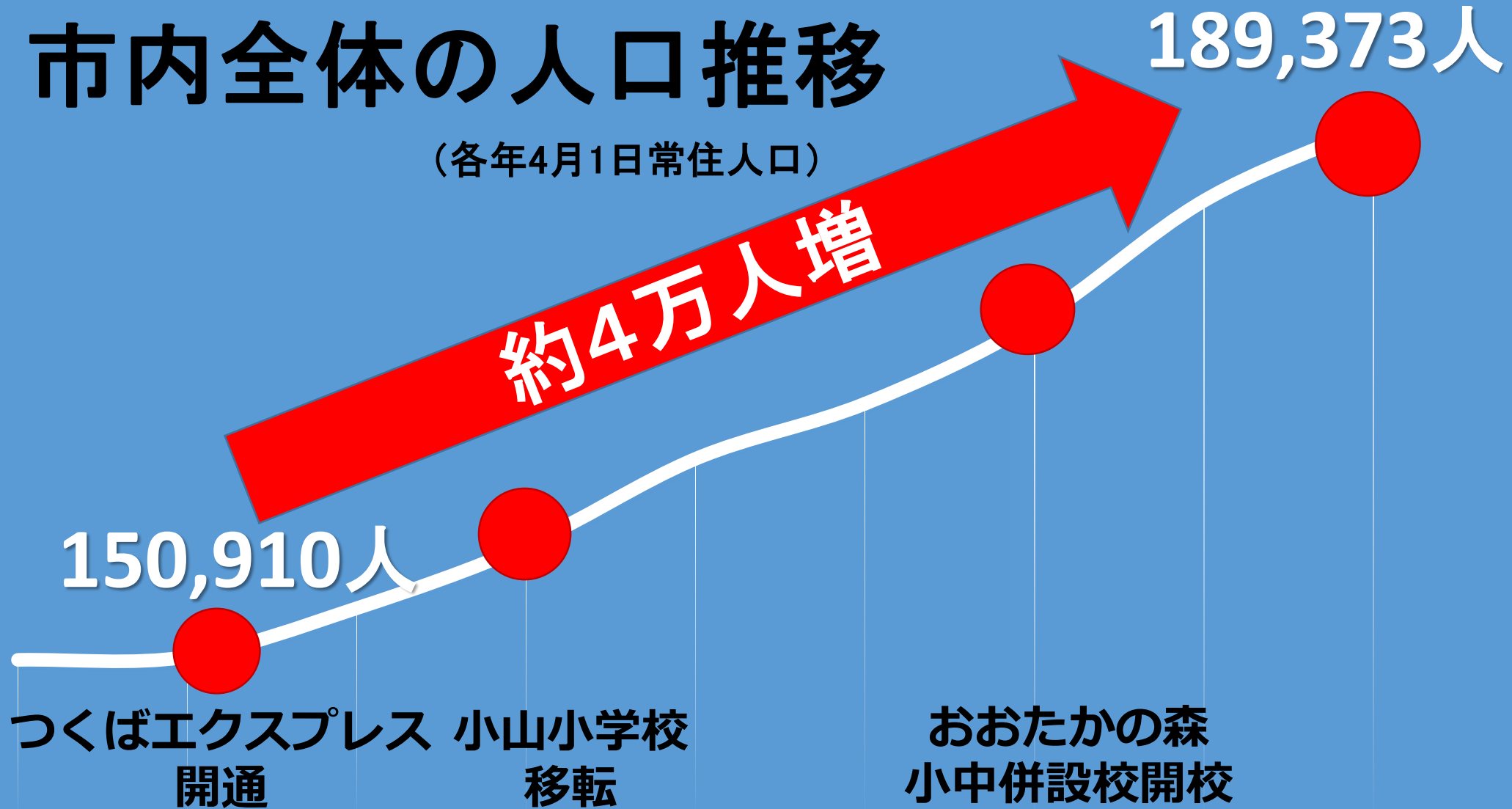
②今後の児童生徒数について

- ・児童・生徒数推計及び想定値

③新設中学校通学区域案について

市内全体の人口推移

(各年4月1日常住人口)



新設中学校
開校

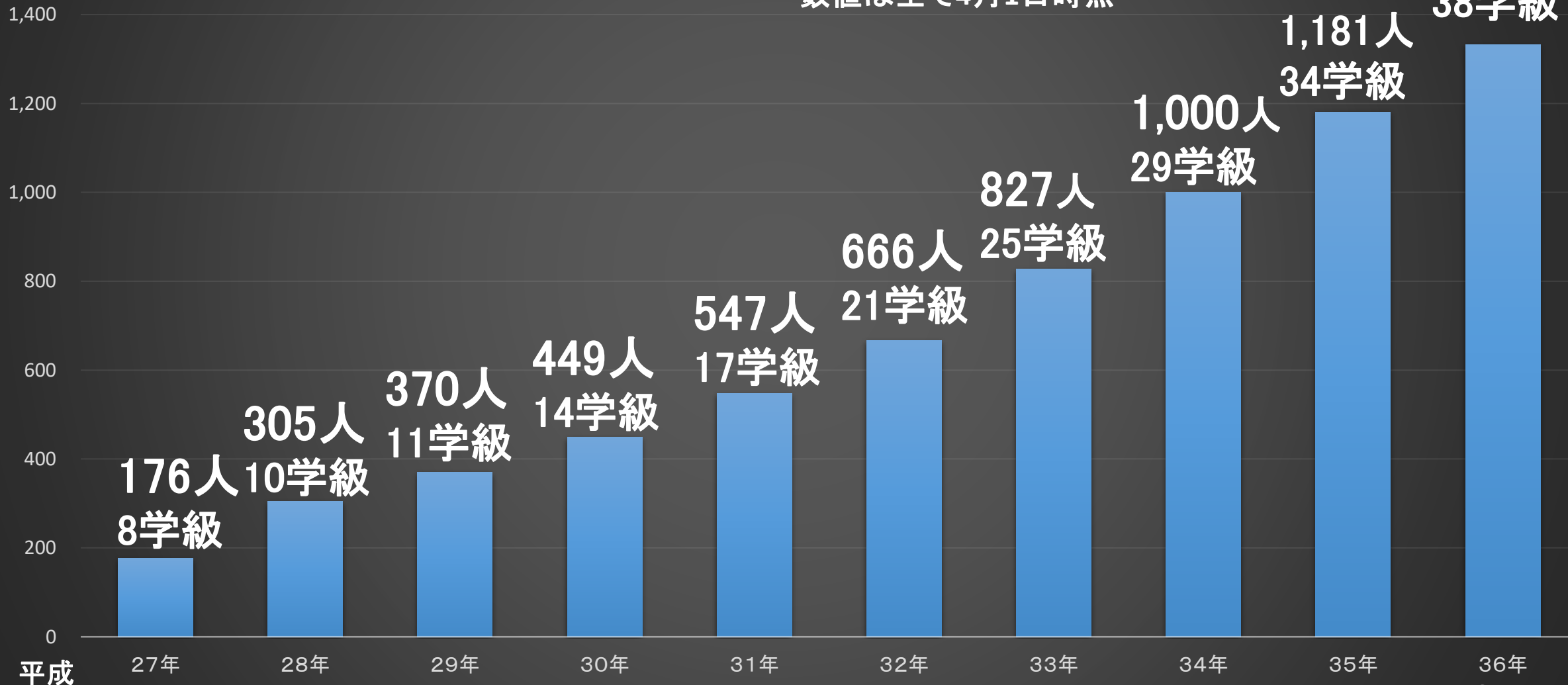
平成
15年 17年 19年 21年 23年 25年 27年 29年 30年

H34

おおたかの森中学校区の生徒数及び学級数

(人)

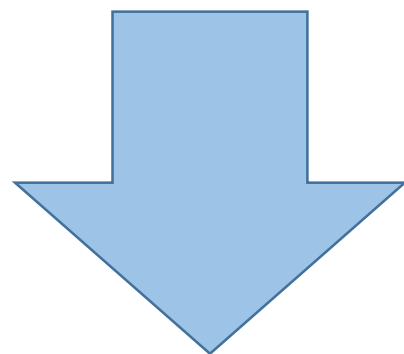
数値は全て4月1日時点



平成

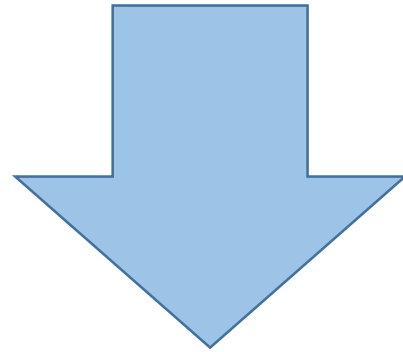
※同じものがお手元の資料にも掲載してあります。

今後の児童・生徒数の増加傾向を 予想・検証



児童生徒数の推計及び想定値

平成30年度の児童・生徒数



各学校の在籍者数

学級数について

学級編制基準の弾力的な運用(千葉県)

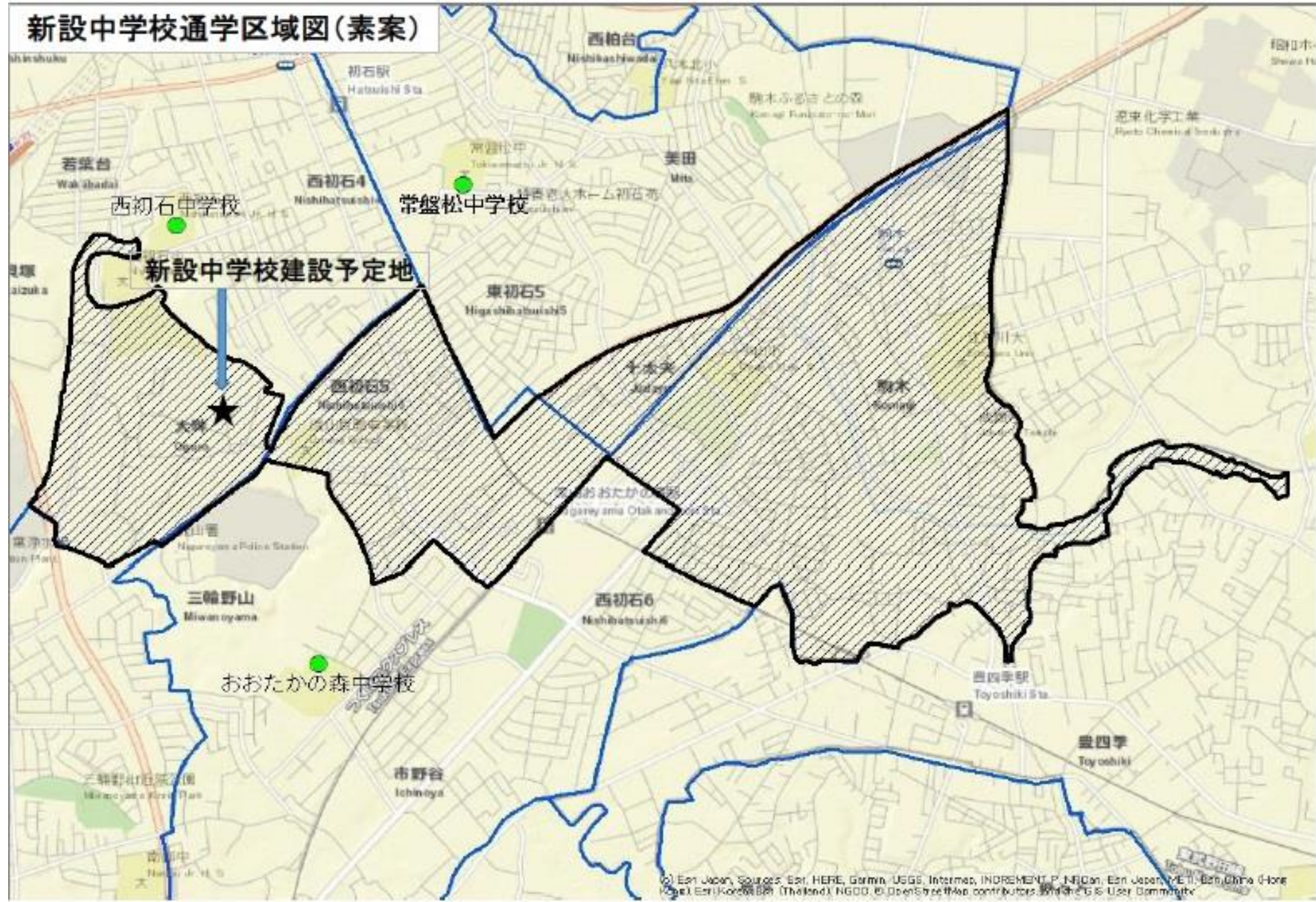
1年生	35人	1学級
2、3年生	38人	1学級

学級編制基準(国)

1～3年生	40人	1学級
-------	-----	-----

新設中学校 通学区区域(案)

新設中学校通学区域図(素案)



原則として、新設中学校へは、

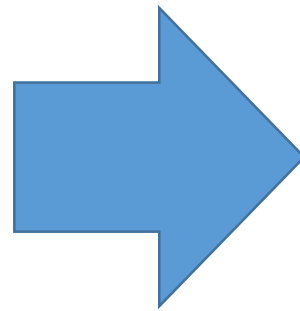
- 新設小学校の卒業生
- 小山小学校の卒業生

※小山小学校の卒業生について、平成33年度、都市軸道路を境に、北側が八木北小学区、南側を小山小学区となりますので、**南側にお住みの方が対象**となります。

おおたかの森 中学校開校時

(平成27年4月)

中学1、2年生は、
おおたかの森中学校
へ行くこととし、
中学3年生は、
希望制とした。



新設中学校

(平成34年4月)

中学1、2年生は、
新設中学校へ行
くこととし、
中学3年生は、
希望制としたいと考
えています。

学校行事や学校運営に影響がないようにするため。

新設中学校 生徒数及び教室数 の見込みについて

平成30年9月作成 学校教育課

平成34年度

- 希望者・転入者は受入れ

		1年で開校	県費教職員数	1・2年で開校	県費教職員数	1・2・3年で開校	県費教職員数
生徒数(推計値・想定値)	1年	260	22	260	27	260	35
	2年	-		217		217	
	3年	-		-		200	
	合計	260		477		677	
通常学級数(県基準)	1年	8	8	8			
	2年	1	6	6			
	3年	1	1	6			
	合計	10	15	20			
通常学級数(国基準)	1年	7	7	7			
	2年	1	6	6			
	3年	1	1	5			
	合計	9	14	18			
特別支援学級数	-	-	-				
学級数合計(県基準)	10	15	20				
学級数合計(国基準)	9	14	18				

平成35年度

- 希望者・転入者は受入れ

		1年で開校		1・2年で開校		1・2・3年で開校	
		県費教職員数	県費教職員数	県費教職員数	県費教職員数		
生徒数(推計値・想定値)	1年	315	30	315	38	315	38
	2年	260		260		260	
	3年	-		217		217	
	合計	575		792		792	
通常学級数(県基準)	1年	9	9	9			
	2年	7	7	7			
	3年	1	6	6			
	合計	17	22	22			
通常学級数(国基準)	1年	8	8	8			
	2年	7	7	7			
	3年	1	6	6			
	合計	16	21	21			
特別支援学級数	-	-	-				
学級数合計(県基準)	17	22	22				
学級数合計(国基準)	16	21	21				

平成36年度

		平成36年度					
		1年で開校	県費教職員数	1・2年で開校	県費教職員数	1・2・3年で開校	県費教職員数
生徒数(推計値・想定値)	1年	335	43	335	43	335	43
	2年	315		315		315	
	3年	260		260		260	
	合計	910		910		910	
通常学級数(県基準)	1年	10		10		10	
	2年	9		9		9	
	3年	7		7		7	
	合計	26		26		26	
通常学級数(国基準)	1年	9		9		9	
	2年	8		8		8	
	3年	7		7		7	
	合計	24		24		24	
特別支援学級数		-		-		-	
学級数合計(県基準)		26		26		26	
学級数合計(国基準)		24		24		24	

通学路について

文部科学省の小学校施設整備指針及び 中学校施設整備指針

「交通頻繁な道路、鉄道線路等との交差をさけるなど**安全な通学経路を確保することが**できることが重要である」

通学路(案)

大畔美田線

下花輪駒木線

- 新設中学校学区(案)
- 現)中学校学区
- 下花輪駒木線
- 大畔美田線
- 東深井市野谷線
- 美田駒木線
- 県道駒木線
- ← 新設中学校への通学路(案)

新設中学校
建設予定地

県道駒木線

東深井市野谷線

美田駒木線

